



高級ホテルのロビーを思わせる、一宮西病院のエンタランスホール

患者さまサービスの向上と事務効率化を同時に実現した

ホスピタック

# 医事会計/オーダリングシステムHOSPITAC

医療法人 きょうりょうかい 杏嶺会 一宮西病院

医療の電子化の流れを受け、いま多くの医療機関がコンピュータ・ネットワークによるオーダリングシステムや医事会計システムの導入を本格化しています。オーダリングシステムは、これまで医師が手書きしていた処方箋や検査伝票などの内容を直接パソコンに入力することで、関連業務の省力化やスピード化を図るためのシステムです。これにより、患者さまの待ち時間を短縮したり、過去の検査結果や投薬内容との比較検討がスピーディに行えるだけでなく、医事会計システムとの連動で、会計での待ち時間も短縮します。2001年に開設された一宮西病院では、日立の病院情報システム「HOSPITAC」を導入し、患者さまサービスのさらなる向上と病院事務の効率化を強力に推進しています。

## 患者さまの快適さを重視した院内アメニティ

日本三大七夕まつりで有名な愛知県一宮市。その西部に本拠を構える医療法人「杏嶺会」は、広大な敷地内に一宮西病院、上林記念病院、老人保健施設「やすらぎ」、精神科デイケアセンター「つどい」など、多彩な医療関連施設を擁しています。



医療法人 杏嶺会 理事長  
上林記念病院院長

上林 弘和氏

そのなかでも、2001年12月に開設されたばかりの一宮西病院は、内科・消化器科・外科・整形外科・耳鼻咽喉科・眼科など12の診療科目と先進の医療機器を備え、地域住民の方々に高度で専門性の高い急性期医療を

提供。また、脳卒中や骨折などの患者さまに対して、専門スタッフが早期回復と自立に向けた支援を行う「回復期リハビリテーション病棟」も設置しています。

一步、院内に入れば、そこにはホテルのようなロビーやティールーム、明るくて広い病室や屋上庭園など、アメニティにも十分に配慮された医療環境が整えられています。

「私たち杏嶺会は、地域に根ざし、医療を通じて“人間”を診ていくという考え方を一貫して胸に刻んできました。そして、その背後にある患者さまの生活そのものにも、しっかりと目を向けて医療活動を行っていく。それこそが、『地域ならではのきめ細かな医療』人々に愛され信頼される医



一宮西病院  
院長

宮田 英雄氏



医療法人 杏嶺会 一宮西病院

住 所 / 〒491-0201 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

TEL(0586)61-0037(代表)

診療科目 / 内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、神経内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科

病 床 数 / 131床(2002年4月現在)

ホームページ / <http://www.anzu.or.jp/>



療』をめざすという、私たちが掲げる地域医療の出発点だと考えています。これまで私たちは1948年からの長い歴史を持つ上林記念病院を中心に、老人医療と精神科医療を核とした医療を実践してきました。そして、より地域の皆さまに親しまれる、地域に還元できる医療活動を進めていこうという考えから、このたび幅広く一般の診療にも対応した一宮西病院を設立したわけです。

私たちの病院は、一宮市の中心から少し離れているため、この地域の患者さまがわざわざ遠くまで行かなくてもいいように地元で、しっかりとした医療を提供したいと考えています。そこで、近隣の医院からの強い要望があったMR(核磁気共鳴映像法)装置やマルチスライスCTなどの先進医療機器を導入し、相互に連携しながら地域医療を完結していく体制づくりを進めています」(医療法人杏嶺会理事長/上林記念病院院長 上林弘和氏)

幅広い医療機関での導入実績を誇るHOSPITAC

一宮西病院の開設に伴って、杏嶺会は事務作業の効率化と患者さまサービスの向上を図るため、医事会計システムとオーダーリングシステムの導入を検討。数社のシステムを比較した結

果、病院情報システムとして日立の

図 医療法人 杏嶺会

HOSPITAC、そのサーバとクライアントにHA8000、FLORA 310を採用しました。

総合病院から診療所まで、幅広い医療機関での導入実績を誇るHOSPITACは、全システムが動作の高速性と安定性に優れたLinux上で開発されており、各システム相互に整合性のとれた動作を保証。さらに、HOSPITACのデータをWindows<sup>®</sup>のExcelなどを用いて処理したいといったニーズにも応える柔軟性に加え、医療費改定時のソフトウェアメンテナンスや、万一のトラブル時の遠隔操作など、すべてのお客さまにオンラインサポートを提供している点も大きな長長となっています。

一宮西病院では開院と同時に、まず医事会計システムとリハビリ・オーダーリングシステムを稼働させ、2002年7月には「処方・注射」、同12月には「検体検査・放



一宮西病院 事務部長

野田 保氏



耳鼻咽喉科

一宮西病院では、先進の医療機器を備え、病気をいち早く診断し、患者さま一人ひとりに合った最適な医療を提供している



消化器科



眼科

射線・食事 も含めた全体システムを稼働させる予定としています。

「オーダーリングシステムは、日々ドクターが使うシステムです。つまり、ドクターが使いにくいシステムでは、医事会計システムとの連動も図れず、患者さまへのスピーディなサービス提供もおぼつきません。その点、HOSPITACは他社の製品に比べ、操作が非常に簡単で、ビジュアルなインターフェースを多用している点を高く評価しました。理事長や院長にも事前に試していただいたところ、これなら初めてコンピュータを操作するドクターでも大丈夫だろうという判断で、導入を決断したわけです」

(一宮西病院 事務部課長 野田 保氏)

けられるといいます。それは、常に患者さまと対峙しながら、システム入力という作業負担を強いられるドクターに、いかに使いやすいインターフェースが提供できるかという、ベンダー側の課題の裏返しでもあります。また、すべてのドクターが使ってこそ目的を達せられるオーダーリングシステムは、使う意味と目的を明確な意思を持ってトップダウンできる、院長のリーダーシップが不可欠です。

「外来の患者さまに対しては、処方箋や検査のオーダーリングが進むことで、今まで以上にスピーディなサービスが提供できます。これは患者さまにとっても、各部署のスタッフにとっても非常に有意義なことだと思います。また私たち医師はあくまでも、患者さまの治療に全力を尽くすことが使命ですから、システム操作に神経を使わずにすめば、それに越したことはありません。その点、HOSPITACのインターフェースなら、私たちの少しの努力で、システムメリットを最大限に活かすことができると期待しています」

(一宮西病院院長 宮田英雄氏)

### 院長のトップダウンで活用を推進

これまで多くの病院で、オーダーリングシステムの導入が図られていますが、途中で挫折しているパターンも少なからず見受



医事会計システムのクライアントとして使われているFLORA 310



HOSPITACの画面例



充実した設備と明るい環境でリハビリに専念できる  
総合リハビリテーションセンター



看護部門では、常に患者さまに対し、笑顔と思いやりを持って  
対応することをモットーにしている



ゆっくりとくつろぐことができるティールーム



患者さまの気持ちを和らげるように配慮されたMRI室内。オープンMRI装置  
「I-MR model AIRIS(エアリス)-II」(日立メディコ製)が設置されている



広いスペースで座りやすい椅子が設置された外来待合

### オンライン保守サポートで、運用管理も軽減

「まだすべてのオーダーリングシステムが稼働しているわけではないので、全体的な評価は後に譲りますが、非常に便利だなと思ったのは、「オンライン保守サポート」ですね。点数改正時には日立さんから迅速にシステム更新の対応をしてもらえますし、医事会計システムで一度フリーズが起こった際にも、遠隔診断で問題の切り分けをしてもらい、スピーディに復旧させることができました。

#### お問い合わせ先

(株)日立製作所 中部支社 公共情報システム営業部 担当:蟹江  
TEL(052)388-3712 FAX(052)388-3722 E-mail:m-kanie@chubu.hitachi.co.jp

また、私の部署で使っている医事会計システムでは、標準機能としては帳票印刷しかサポートしていませんが、データをWindowsのファイルに変換し、Excelで取り込めるようにカスタマイズしていただきました。これにより、自席のPCでデータを取り込んで、病棟別・診療科別・項目別などの医事統計資料が簡単に作成できるようになりました(野田氏)

地域に愛され、信頼される総合的医療サービスの提供をめざし、高度できめ細かな医療活動と積極的なシステム化を推進する医療法人杏嶺会。その活躍をこれからも、日立は力強くサポートしてまいります。